

【授業の到達目標および概要】

環境中の物質は人間の健康や生活、生態系に様々な経路で影響を及ぼしている。健康な生活を営むためには、環境の物質を適切に評価し、社会として必要な対策を取ることが求められている。本特論では環境物質のリスクアセスメントを中心に学び、リスクアセスメントの基本を説明できるようになるとともに、人間と環境との関わりについて考察し、問題提起ができる能力を身に付けることを目標とする。

【授業計画】

- ① リスクアナリシスの概要
- ②～④ リスクアセスメント
- ⑤ リスクマネジメント
- ⑥ リスクコミュニケーション
- ⑦⑧ 金属のリスクアナリシス
- ⑨⑩ 粒子状物質のリスクアナリシス
- ⑪⑫ ダイオキシン類のリスクアナリシス
- ⑬～⑮ まとめ

履修者によっては、取り上げる項目や時間配分を変更することもありえる。

【授業外学習】

配付資料や指示した関連文献を事前に読み、討論に参加できるように準備すること。

【成績評価の方法・基準】

討論への参加状況と提出したレポートで理解度に応じて評価する。

【教科書】

随時、資料を配付する。

【参考書】

新版トキシコロジー、日本トキシコロジー学会教育委員会 編、朝倉書店